

地球温暖化対策に関する市民アンケート調査結果報告書

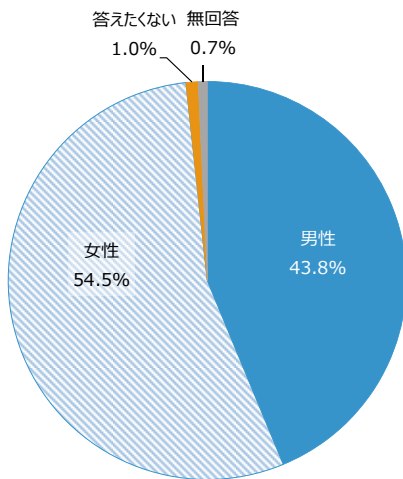
1 アンケート調査の概要

- 調査期間 : 令和5年9月14日～令和5年10月13日
- 調査対象 : 市民
- 抽出方法 : 住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法 : 郵送による配布・回収、Web
- 配布数 : 1,000通
- 回収結果 : 有効回収数 : 409通 (内 Web53件) (有効回収率 : 40.9%)

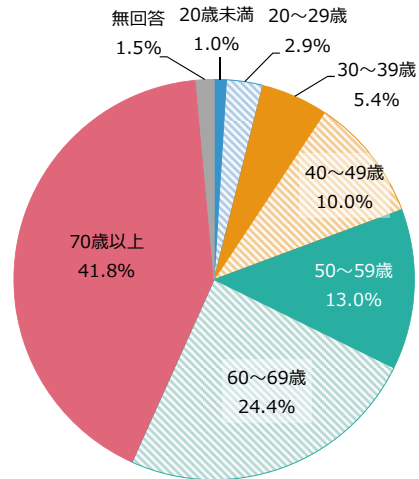
2 アンケート調査結果

問1 あなた自身のことについてお聞きます。(各項目あてはまる番号1つに○)

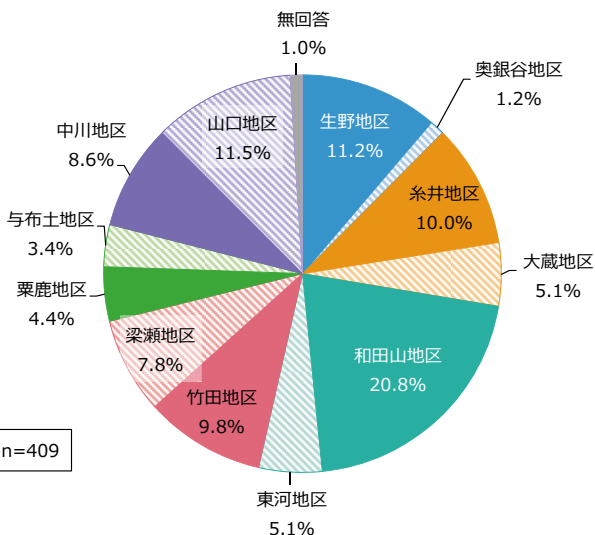
■ 性別



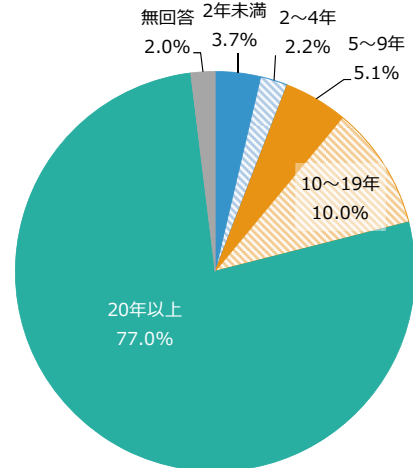
■ 年齢



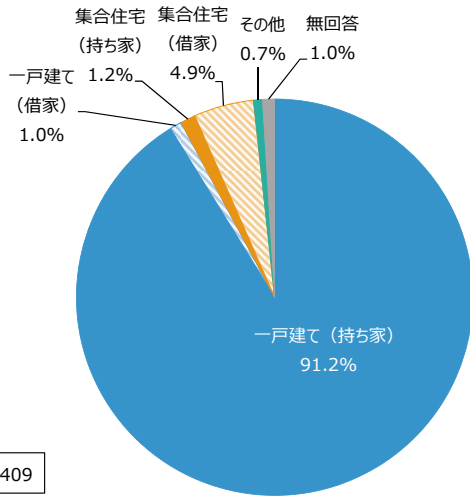
■ 居住地区



■ 居住年数

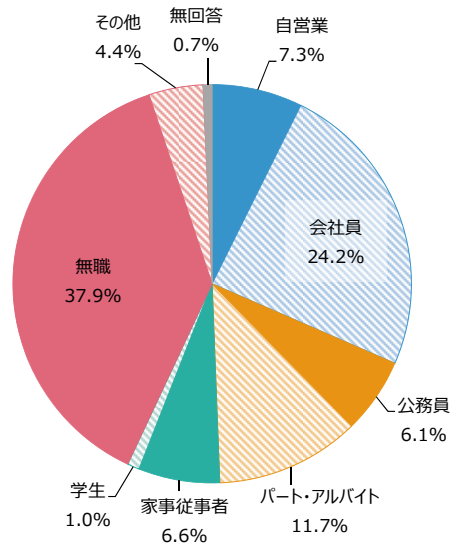


■ 居住形態



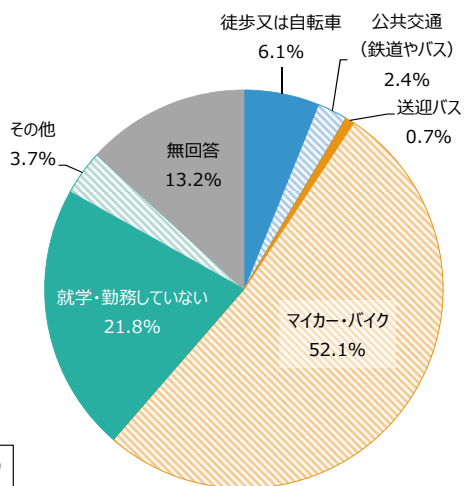
n=409

■ 職業



n=409

■ 通勤・通学の主な交通手段

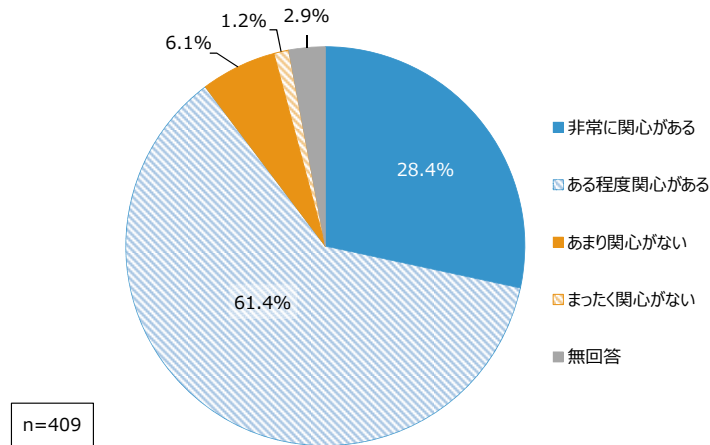


n=409

問2

あなたは、地球温暖化問題に関心がありますか。（あてはまる番号1つに○）

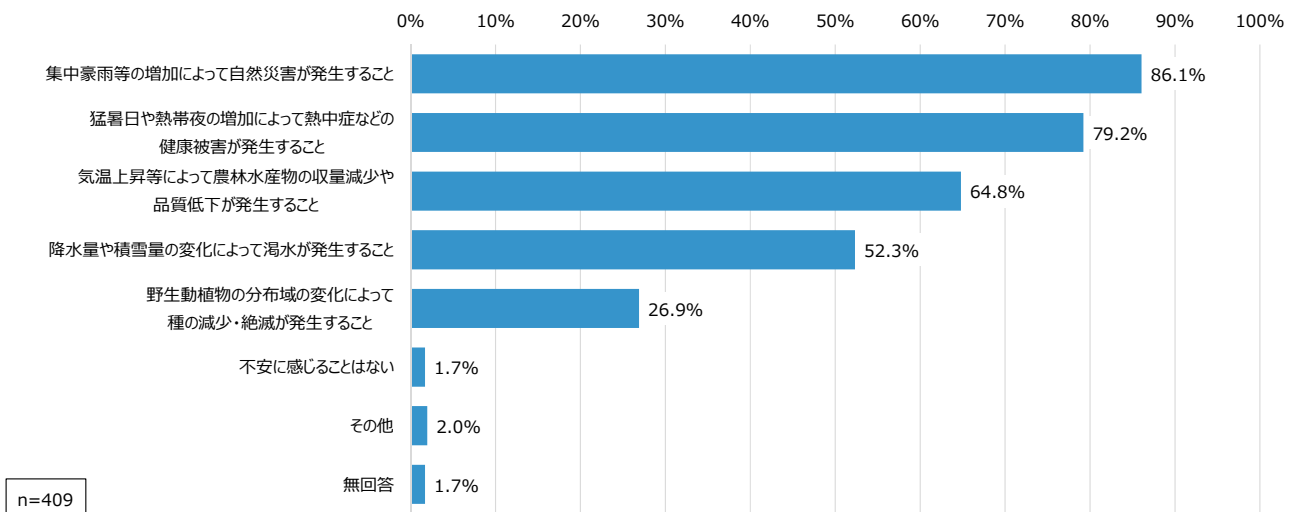
地球温暖化問題への関心については、「ある程度関心がある」が61.4%で最も多く、次いで「非常に関心がある」が28.4%、「あまり関心がない」が6.1%などとなっている。



問3

あなたは、地球温暖化の影響について不安に感じることがありますか。（あてはまる番号全てに○）

地球温暖化の影響による不安については、「集中豪雨等の増加によって自然災害が発生すること」が86.1%で最も多く、次いで「猛暑日や熱帯夜の増加によって熱中症などの健康被害が発生すること」が79.2%、「気温上昇等によって農林水産物の収量減少や品質低下が発生すること」が64.8%などとなっている。



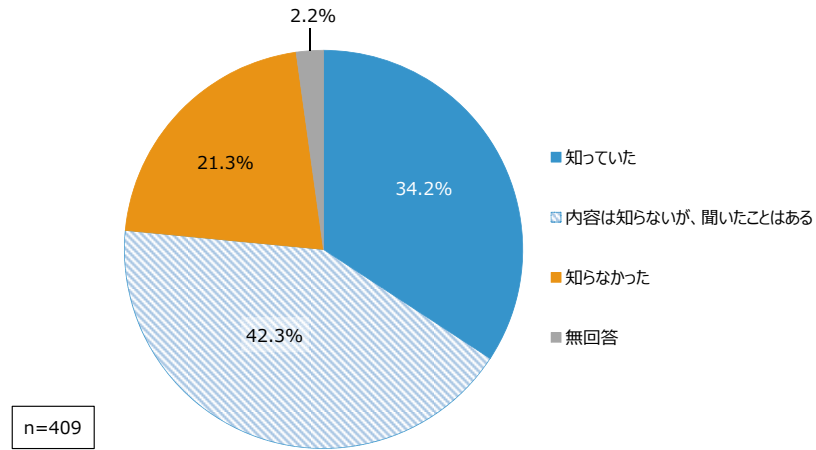
■ その他の主な意見

- 人間の絶滅
- 黄砂など中国の環境悪化による影響
- 日本の産業への影響
- 経済・政治バランスの崩れ→争いの頻発
- 四季から二季という季節変化が現実となってきた点
- 大火災、森林の加速的な減少

問 4

二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量から、森林等による吸収量を差し引いて実質ゼロにすることを「カーボンニュートラル」といいます。あなたは、「カーボンニュートラル」という言葉を知っていましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

カーボンニュートラルの認知度については、「内容は知らないが、聞いたことはある」が 42.3%で最も多く、次いで「知っていた」が 34.2%、「知らなかった」が 21.3%となっている。

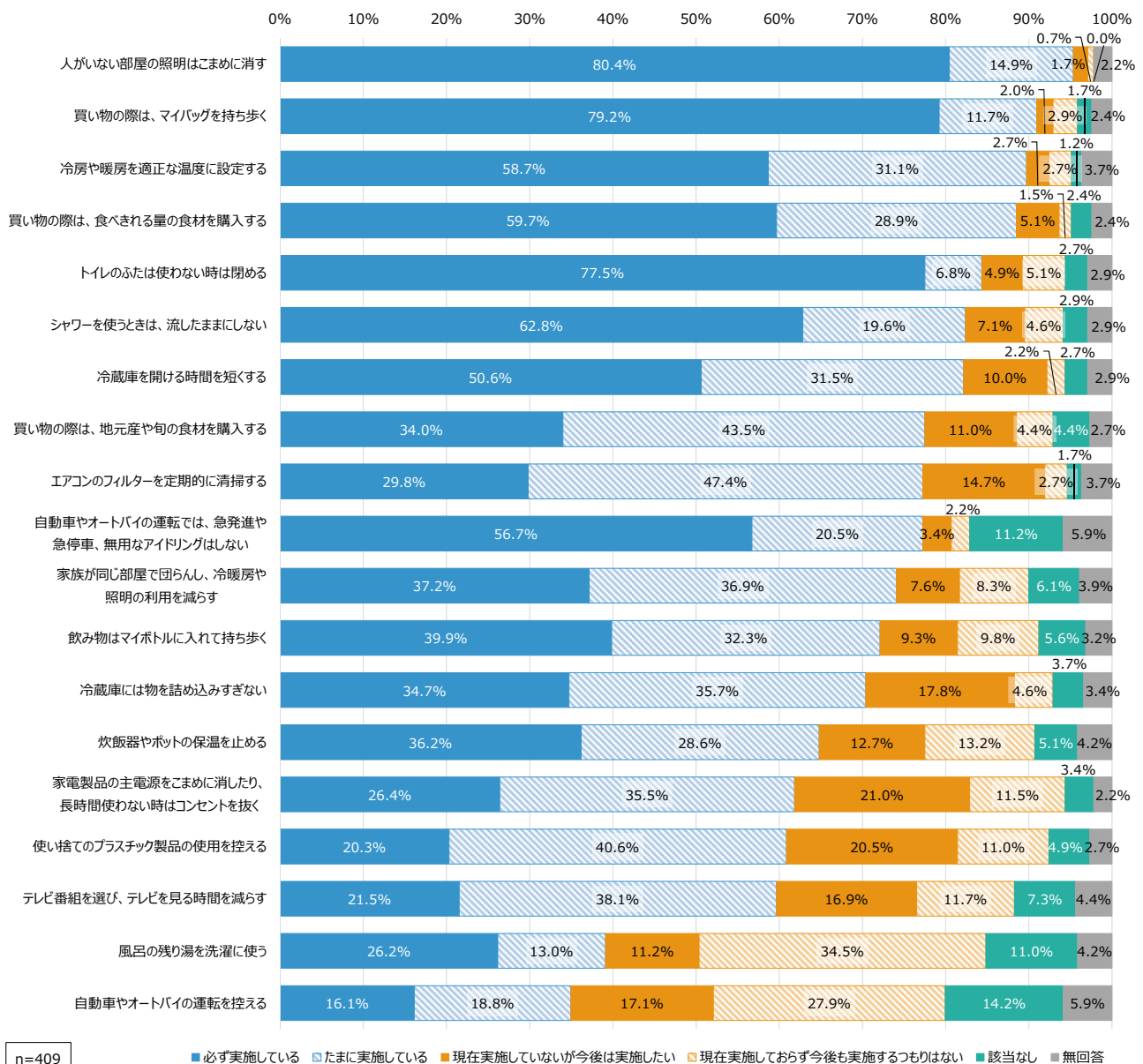


問 5

あなたのご家庭では、省エネルギーなどに関する取組を行っていますか。（各項目あてはまる番号1つに○）

「必ず実施している」及び「たまに実施している」と回答された省エネルギーなどに関する取組については、「人がいない部屋の照明はこまめに消す」が 95.3%で最も多く、次いで「買い物の際は、マイバッグを持ち歩く」が 90.9%、「冷房や暖房を適正な温度に設定する」が 89.8%などとなっている。

一方、「現在実施しておらず今後も実施するつもりはない」と回答された取組については、「風呂の残り湯を洗濯に使う」が 34.5%で最も多く、次いで「自動車やオートバイの運転を控える」が 27.9%、「炊飯器やポットの保温を止める」が 13.2%などとなっている。

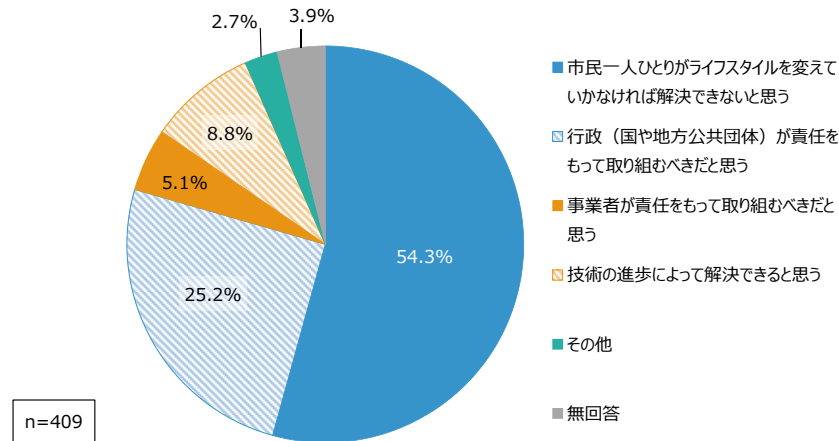


n=409

問 6

あなたは、地球温暖化対策を行う主体について、どのようにお考えですか。（あてはまる番号 1 つに○）

地球温暖化対策を行う主体については、「市民一人ひとりがライフスタイルを変えていかなければ解決できないと思う」が 54.3%で最も多く、次いで「行政（国や地方公共団体）が責任をもって取り組むべきだと思う」が 25.2%、「技術の進歩によって解決できると思う」が 8.8%などとなっている。



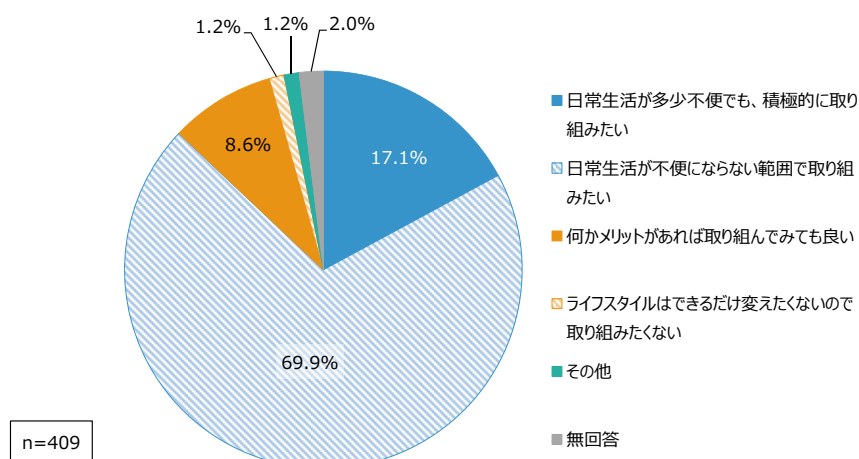
■その他の主な意見

- 地球温暖化は地域はもちろんだが人類全てで考えるべき
- 日本だけで解決できる課題ではない
- 市民ができることをしていく
- 行政のみでなく市民全体一致協力するべき
- 主体は対応策によって異なり固定化されるものではないと思う
- 海外に行くと、日本だけが取り組んでいるように見える。途上国の現状はとてひどいものである。つまり、国を超えて手を打たないと難しい

問 7

あなたは、省エネルギーなどの地球温暖化対策にどの程度取り組んでいきたいと思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）

地球温暖化対策への意向については、「日常生活が不便にならない範囲で取り組みたい」が 69.9%で最も多く、次いで「日常生活が多少不便でも、積極的に取り組みたい」が 17.1%、「何かメリットがあれば取り組んでみても良い」が 8.6%などとなっている。



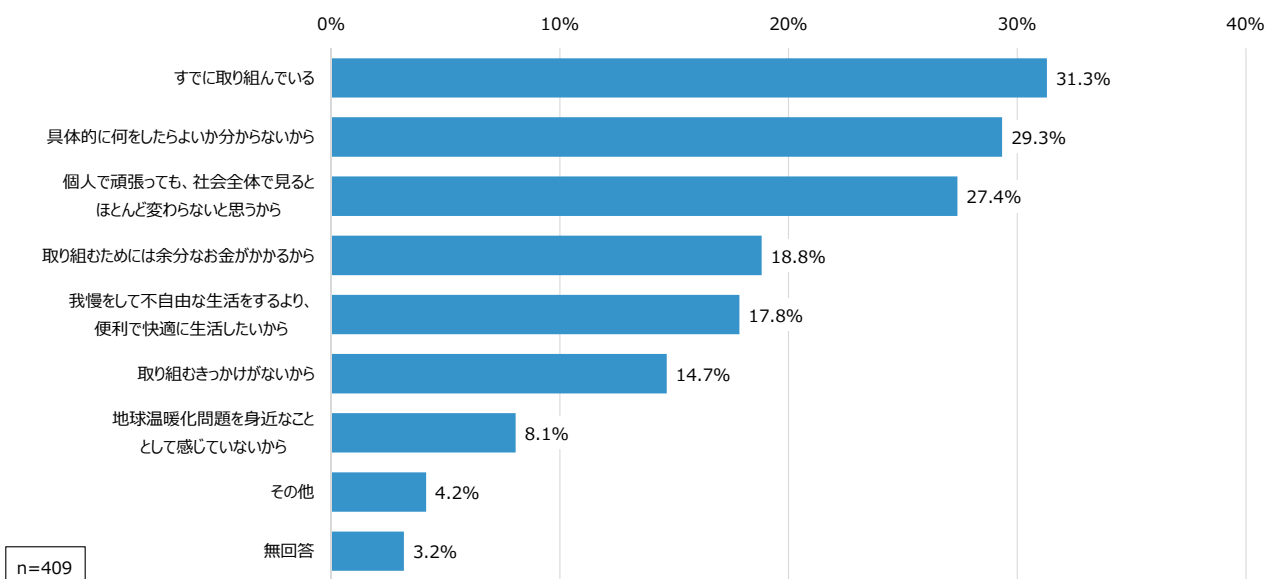
■その他の主な意見

- 自分が死ぬまでに現時点の平均気温を1度下げぐらいで取り組みたい
- 取り組み方が正しいのか分からない

問 8

あなたは、省エネルギーなどの地球温暖化対策に取り組みにくい、または取り組まない要因として何があると思いますか。（あてはまる番号全てに○）

回答は「すでに取り組んでいる」が31.3%で最も多くなっており、地球温暖化対策に取り組みにくい、または取り組まない要因については、「具体的に何をしたらよいか分からないから」が29.3%で最も多く、次いで「個人で頑張っても、社会全体で見るとほとんど変わらないと思うから」が27.4%、「取り組むためには余分なお金がかかるから」が18.8%などとなっている。



■その他の主な意見

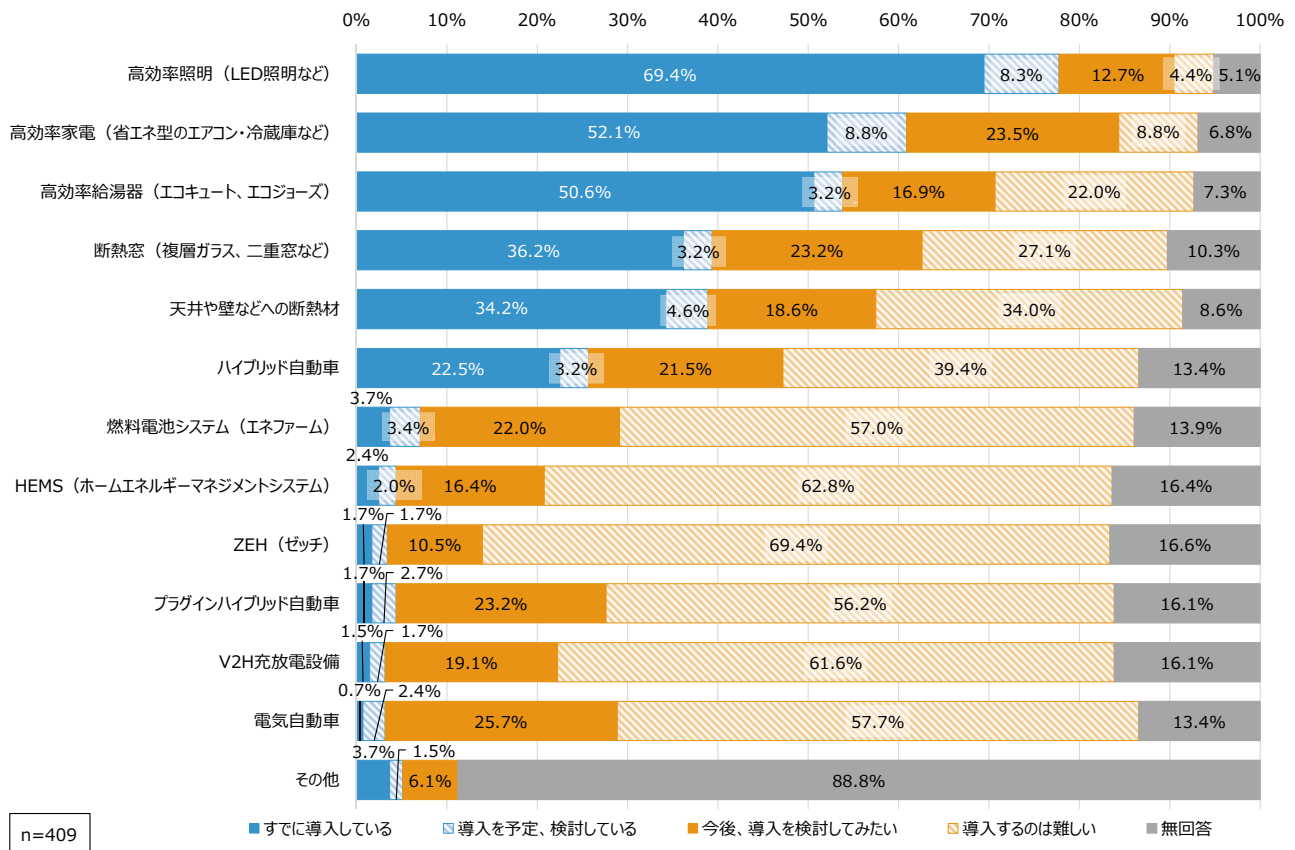
- 日本のCO₂の%は低く、アメリカ、中国他の国に責任もある。脱CO₂でドイツや欧米は行き詰まっている現実があるので、本当の所はよく分からない
- 本当に省エネになっているのか、疑問があるから
- 情報が少ない。どういことをしたら・・・という例示が少ない
- 取り組もうとしているが暑さ寒さは我慢の限界がある
- 近くに店が無いからやむを得ず車を使用しなくてはいけない
- 地球のリズムだと思っているから

問9

あなたのご家庭では、省エネルギー機器などを導入していますか。（各項目あてはまる番号1つに○）

省エネルギー機器などの導入状況については、「高効率照明（LED照明など）」が69.4%で最も多く、次いで「高効率家電（省エネ型のエアコン・冷蔵庫など）」が52.1%、「高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズ）」が50.6%などとなっている。

また、「今後、導入を検討してみたい」と回答された省エネルギー機器については、「電気自動車」が25.7%で最も多く、次いで「高効率家電（省エネ型のエアコン・冷蔵庫など）」が23.5%、「断熱窓（複層ガラス、二重窓など）」と「プラグインハイブリッド自動車」が23.2%などとなっている。



n=409

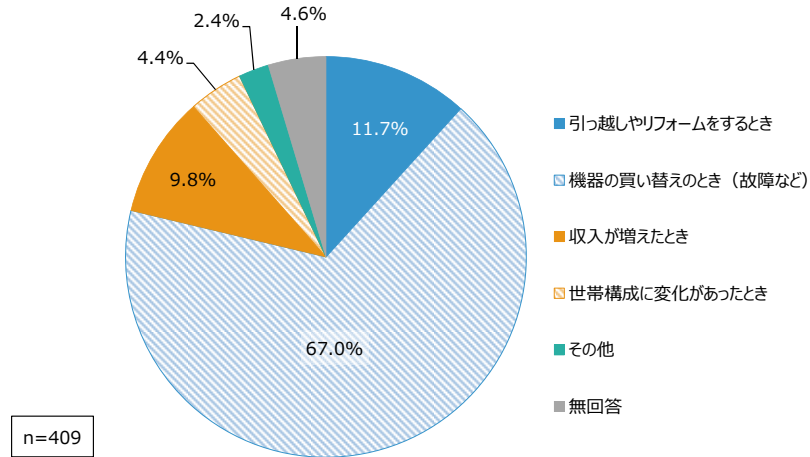
■ その他の主な意見

- 自転車や足の利用
- 太陽熱温水器、低燃費軽自動車、ソーラー電波時計
- 太陽光発電システム
- カーテン類
- その他の家電製品
- 自転車、小型スクーター
- 山水の利用

問 10

あなたのご家庭では、省エネルギー機器などを導入しようとするタイミングはいつですか。（あてはまる番号1つに○）

省エネルギー機器などの導入のタイミングについては、「機器の買い替えのとき（故障など）」が67.0%で最も多く、次いで「引っ越しやリフォームをするとき」が11.7%、「収入が増えたとき」が9.8%などとなっている。



■ その他の主な意見

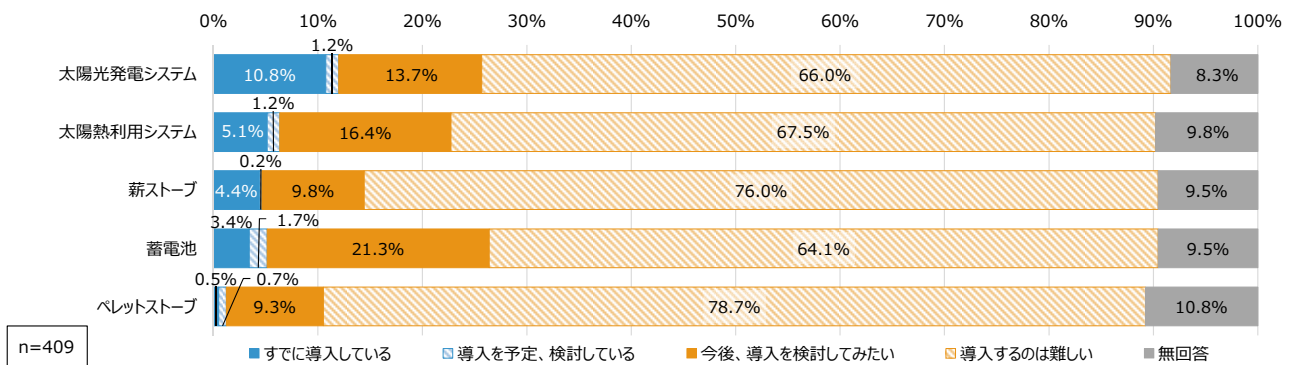
- 高齢なので何も考えていない
- 特殊な事情があるのでできることとできないことがある
- 年金生活の為導入は難しい
- 経済効果が、投資金額を上回る時

問 11

あなたのご家庭では、再生可能エネルギー設備などを導入していますか。（各項目あてはまる番号 1 つに○）

再生可能エネルギー設備などの導入状況については、「太陽光発電システム」が 10.8%で最も多く、次いで「太陽熱利用システム」が 5.1%、「薪ストーブ」が 4.4%などとなっている。

また、「今後、導入を検討してみたい」と回答された設備については、「蓄電池」が 21.3%で最も多く、次いで「太陽熱利用システム」が 16.4%、「太陽光発電システム」が 13.7%などとなっている。

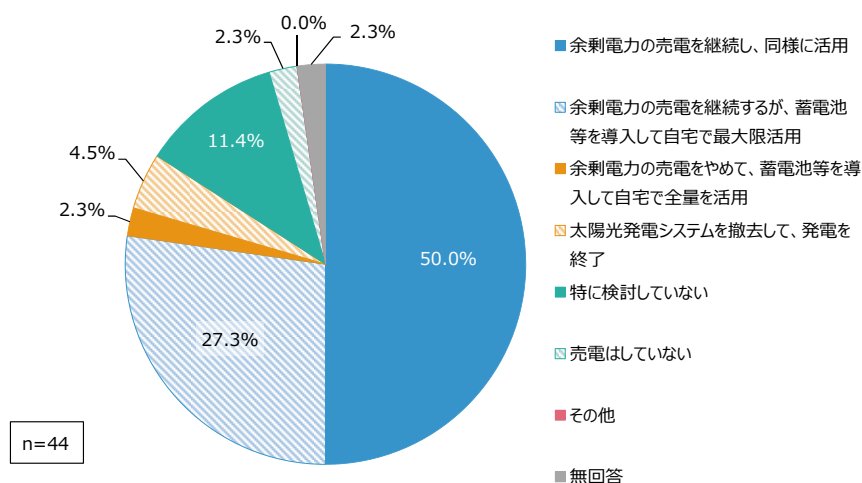


問 12

※問 11「太陽光発電システム」で「すでに導入している」を選択した方のみ

固定価格買取制度（FIT）の買取期間が終了した後、発電した電気をどのように活用されている、または活用される予定ですか。（あてはまる番号 1 つに○）

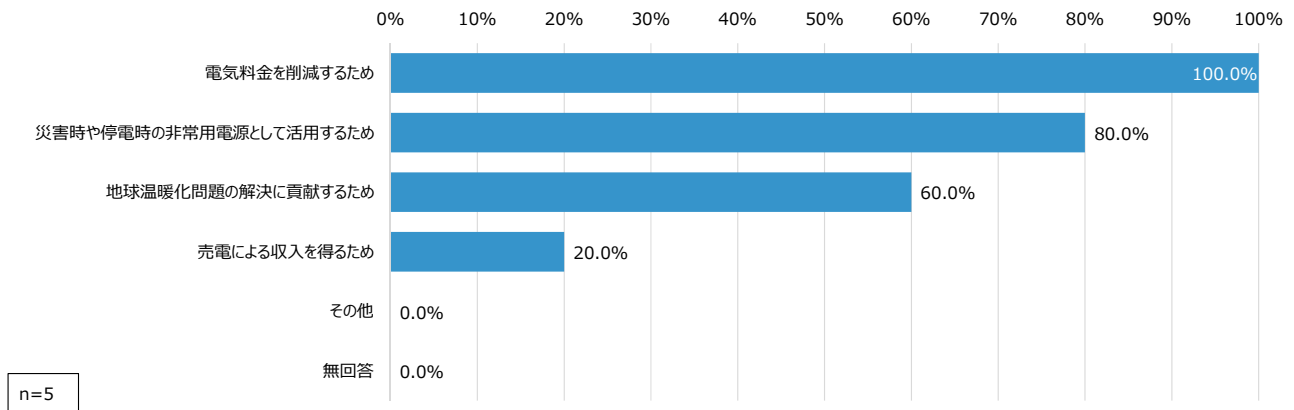
固定価格買取制度（FIT）の買取期間終了後の電気の活用については、「余剰電力の売電を継続し、同様に活用」が 50.0%で最も多く、次いで「余剰電力の売電を継続するが、蓄電池等を導入して自宅で最大限活用」が 27.3%、「特に検討していない」が 11.4%などとなっている。



問 13

※問 11「太陽光発電システム」で「導入を予定、検討している」を選択した方のみ
導入を予定、検討されている理由は何ですか。（あてはまる番号全てに○）

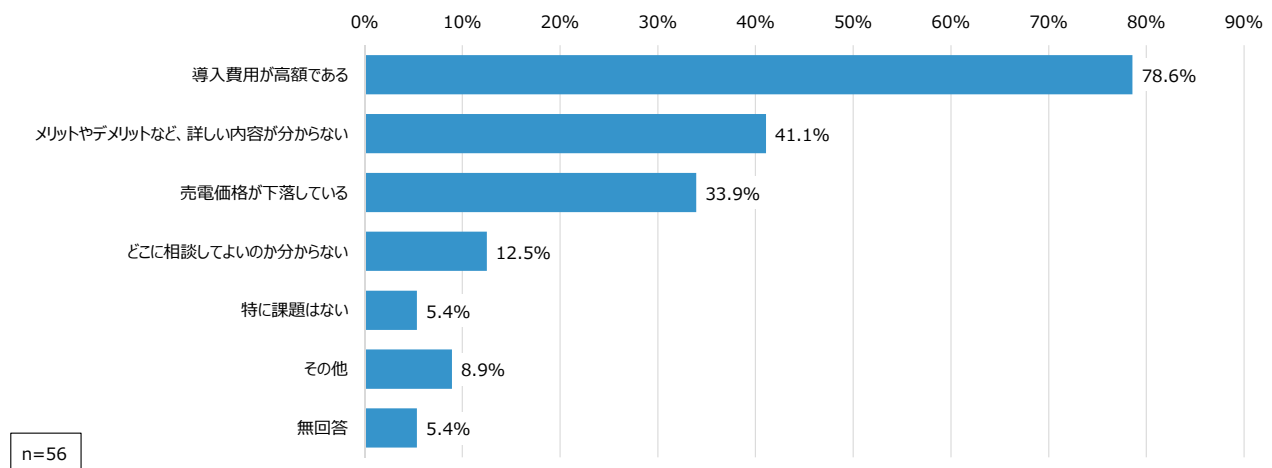
太陽光発電システムの導入を予定、検討している理由については、「電気料金を削減するため」が 100.0%で最も多く、次いで「災害時や停電時の非常用電源として活用するため」が 80.0%、「地球温暖化問題の解決に貢献するため」が 60.0%などとなっている。



問 14

※問 11「太陽光発電システム」で「今後、導入を検討してみたい」を選択した方のみ
導入するにあたって、何が課題となると思いますか。（あてはまる番号全てに○）

太陽光発電システムの導入における課題については、「導入費用が高額である」が 78.6%で最も多く、次いで「メリットやデメリットなど、詳しい内容が分からない」が 41.1%、「売電価格が下落している」が 33.9%などとなっている。



■ その他の主な意見

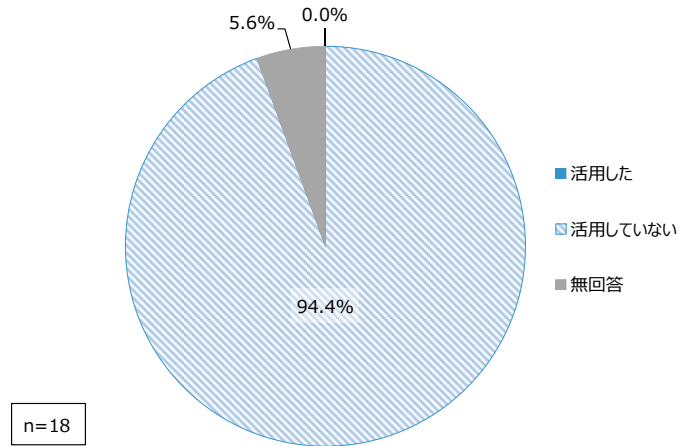
- ・ 処分費用や処分方法などがよく分かっていない
- ・ 山陰地方は日照時間が短いので期待していない
- ・ 持ち家ではないため
- ・ ペロブスカイトが普及すれば導入したい

※問 11「薪ストーブ」で「すでに導入している」を選択した方のみ

問 15

朝来市では、今年度から薪ストーブの購入に対して補助を行っていますが、活用しましたか。（あてはまる番号 1 つに○）

薪ストーブの購入に対する補助の活用については、「活用していない」が 94.4%となっている。



※問 11「薪ストーブ」で「導入を予定、検討している」を選択した方のみ

問 16

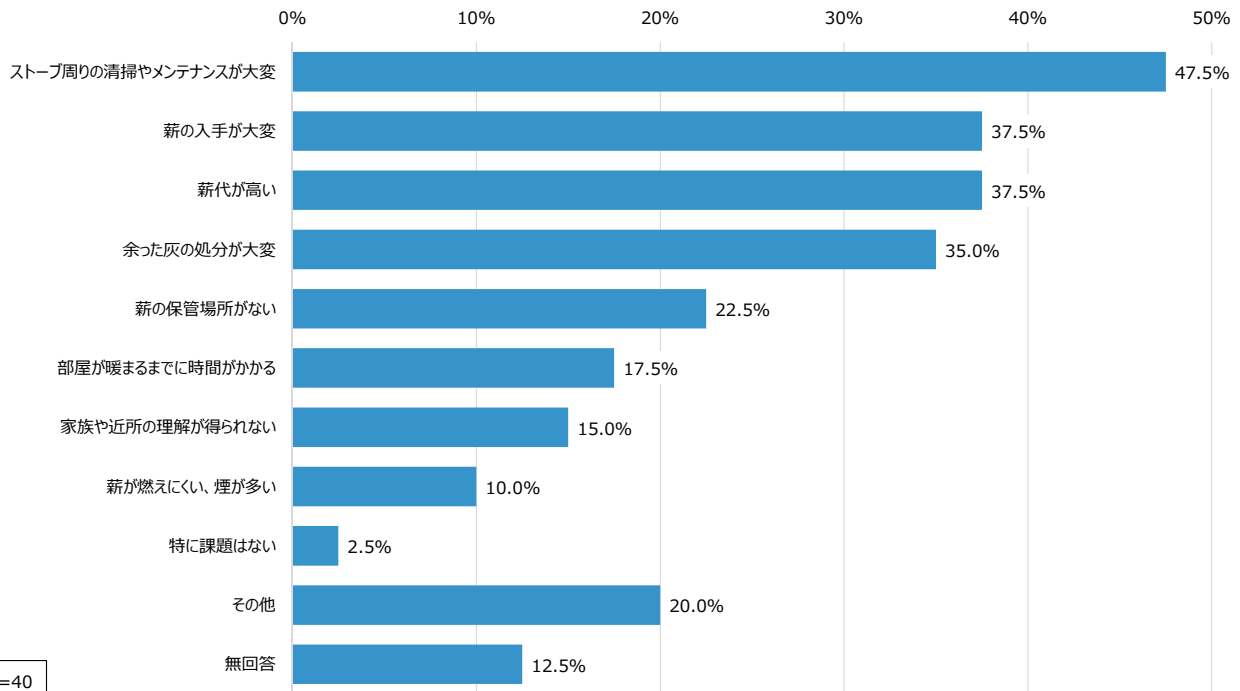
朝来市では、今年度から薪ストーブの購入に対して補助を行っていますが、活用する予定はありますか。（あてはまる番号 1 つに○）

※該当回答者（1名）が未回答だった為省略

問 17

※問 11「薪ストーブ」で「今後、導入を検討してみたい」を選択した方のみ
活用するにあたって、何が課題となると思いますか。（あてはまる番号全てに○）

薪ストーブを活用するにあたっての課題については、「ストーブ周りの清掃やメンテナンスが大変」が 47.5%で最も多く、次いで「薪の入手が大変」と「薪代が高い」が 37.5%、「余った灰の処分が大変」が 35.0%などとなっている。



n=40

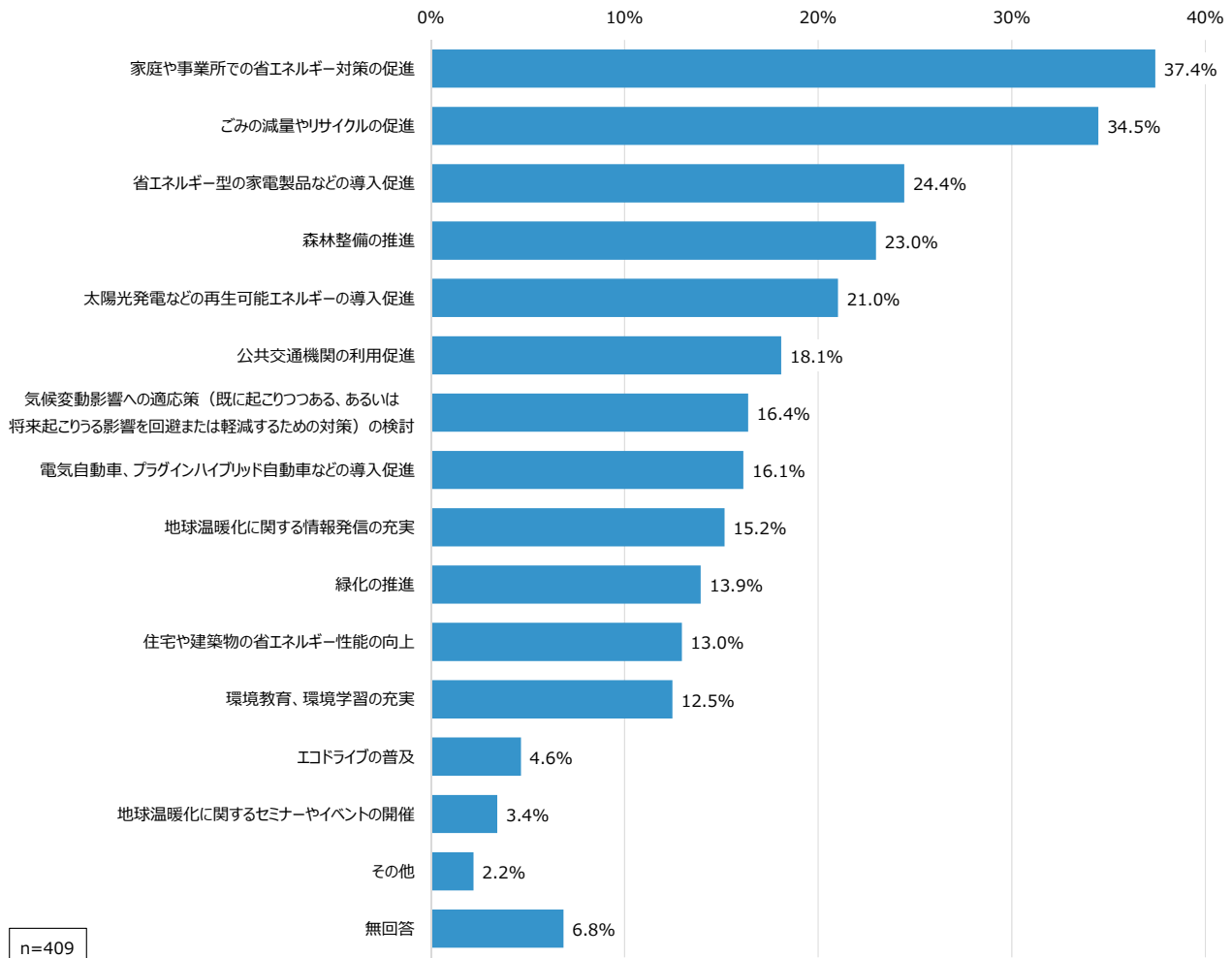
■ その他の主な意見

- 家屋の構造上、ストーブ使用が困難
- そもそも CO₂ 出まくり
- 煙が多く、近所から煙たがられる
- 設置費が高額
- 薪の保管場所、建物の構造改築等々現状変更
- 部屋の耐熱性等、DIY など経費が高額となる

問 18

あなたは、今後、朝来市がカーボンニュートラルの実現に向けて地球温暖化対策を推進していくうえで、どのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。（あてはまる番号 3 つに○）

朝来市がカーボンニュートラルの実現に向けて力を入れていくべき施策については、「家庭や事業所での省エネルギー対策の促進」が 37.4%で最も多く、次いで「ごみの減量やリサイクルの促進」が 34.5%、「省エネルギー型の家電製品などの導入促進」が 24.4%などとなっている。



■ その他の主な意見

- 補助金があれば（家電や車の買い替えの際）
- 70年前の昔の生活に近づける
- 気候市民会議の設置（くじ引き・無作為抽出）
- 公共交通機関の利用促進の前に利用しやすいように整備する
- 実際にどのようなことから始めていくべきなのか金銭的な面もある為、個々で取り組めることを明確にしてほしい
- 風力発電等、再生可能エネルギーで電力を供給している会社の電力を優先的に買うことを市とその関連施設で実行し、市民にも勧奨し補助する。原発による電力は買わない
- プラの入れ物をなくす

問 19

省エネルギーなどの地球温暖化対策に取り組むために行っている工夫や朝来市の地球温暖化対策に関するご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。

■自由意見

- 地球温暖化対策は皆の意識を高くしていく必要がある。いろいろな会議や集まり、地域単位で意識の高揚の必要がある。朝来市においては、まだその意識は低い。地域での地産、地消を進める必要がある。自動車電気化への市の補助、蓄電池への補助などを設けてほしい。
- 森林整備。木炭は再生産可能な資源である（25～30年）ことを理解すべきである。杉・ヒノキでなく雑木の活用を考えること。水害にも強い。
- このようなアンケートを実施されることは、とても良いことだと思っています。市民一人一人が“地球温暖化”と向き合う機会が持て、考えて、今後どうするか意識することは大事です。各々見方は違うでしょうが、少しでも身近なところから働きかけることで、変わっていきなりたいと思います。市の活躍にも期待しています。
- 我が家は寺なので取り組みたくても取り組めない事情があります。例えばV2Hに取り組みたくても自動車を家（くり）の近くへ持ってくる方法がありません。また、文化財に関係するようなものを勝手に改築することや、屋根に太陽電池を上げるのもどうかと思います。各家庭や市に合った提案をお願いしたいと思います。田畑の保全などはその最たるものだと思います。保水や冷却を担っているのに建物（商業施設）や使われない駐車場にしすぎだと思います。
- 野焼きを積極的に注意しに行ってほしい。市民の通報を待つな。
- 太陽を利用したものを積極的に取り入れられれば、みんな少しずつ省エネで生活できて温暖化改善に繋がると思います。山をよく分からない人に売って、その人が森林伐採して、山の木がかなり切られています。山一面地肌が見えています。そういうこともなくしていけば自然も守られ温暖化防止に繋がると思います。
- 何をしてもお金がかかるので難しい。
- 風力発電、水力発電促進。
- 蓄電池の導入補助金制度をご検討下さい。
- 現在の生活を続けていけば絶対に無理。毎日朝シャン、電気は使い放題。通勤は1人乗るのに大きな自動車、服装はピカピカの新品、食事はフードロスのかたまり。私達80才前後の昔の生活からは考えられない時代。世界を見ればロシアウクライナの戦争。毎日大量のエネルギーと資源の労費。森林火災による炭酸ガスで地球の益々の温暖化効果。結果、海水温上昇、台風発生、水位上昇、魚類海草激減、アフリカの人口激増→エネルギー食料、ひっ迫。私達はもう数年でいなくなる。でも人間として環境と、国の借金心配です。でも人間はいきつく所までいかないと変わらない。歴史が語っています。頑張れ。
- 省エネ家電購入補助金制度みたいなものを作ってはどうか。
- 太陽光発電や蓄電池には以前から関心があるが高額なと電磁波の影響や、屋根への影響等、疑問があった。電話での勧誘が頻繁にあり、一度話を聞いたことがある。検討の余地はあったが大阪の業者だったので信用していいのか不安があり断った。後で地元の業者に打診すると金額的には地元業者の方が高く、又、導入を勧められることはなかった。市の方で太陽光発電や蓄電池の有用性や適性価格を知らせていただくと安心して購入が検討できる。
- 国産の蓄電池を安価で！中国製の蓄電池は性能が良くない。
- 促進することは大切だが、物価が上がっても給料はなかなか上がらないので、今の状況をどうやって変えていくかをまず考えなければいけないと思う。

- 省エネ家電、電気自動車等の購入に補助があれば良い。
- 生野は過疎化が進んで交通手段がないので一人一台の車がないと生活できない現状。買い物や病院への日常生活で不便を感じている。移動販売車なども検討してみても。
- 朝来市が地球温暖化対策の何を行っているのか分からない！！また、どんな工夫をしているのか分からない！！私1人の力では何もできないと思う！！地球温暖化に対する危機をもっと認識する必要があるのでは???
- 牛の口から出る二酸化炭素を減らすため、牛肉を食べる回数と量を減らしています。
- 温暖化に起因する災害対策（災害マップ対象地域の宅地嵩上げ、強風予想地域への防風対策、ライフラインの対策（各区での自家発電、給水 etc））が必要。区単位での災害が発生した場合（例えば浸水被害とか）の大量の人々が避難し、生活ができる大規模施設の設置、確保。
- 一般の方への普及を考えるのであれば、「エコポイント」のように省エネ活動した内容に応じてポイントが加算され、一定ポイントがたまったらエコに関するモノ（商品券等でも可）に交換できるようなシステムを通じて、省エネ活動を促進してはどうだろうか。
- 杉やヒノキが目立つ山よりも、動物たちが山で暮らせるように木の実などの食べ物が実る山にしてほしい。田畑の食物を荒らさなくても良い、動物たちが住みやすい山にすることが人間にとっても良いと思います。杉やヒノキをチップにして道路のそばの草におくと、草おさえにもなると思います。豊かな山は温暖化対策にもなると思います。
- 生ごみ処理機購入助成金制度の導入。
- 大規模な、再生可能エネルギー（水力、太陽光、風力）は逆に自然環境の破壊になることもある為、市政は認可についても慎重であるべきと思います。
- 全てにおいて、多額のお金がかかります。あと何年生きるか分からない年寄りなど将来の為にお金を貯蓄しなければいけない中年の方々はやはり難しいと思います。もっと交通が便利になれば車も使用しないで済むのですが。
- 対策に対して補助金を出す。出さないと誰もしません。
- これからもますます豪雨による災害が増えそうな傾向にあるので、この雨水をコントロールする為にも巨大地下貯水庫を作り、その水で水力発電を行い、渇水期には飲料水としても利用する。かつては棚田がコントロールの役目を果たしていましたが、今はその棚田が無くなりましたので水害がよりひどくなっています（うまく提案すれば、国からの補助金が出ると思います（笑））NEDO等を参考に！！
- 個人的には着衣による工夫、早寝早起きにより省エネルギーに取り組む。
- 昨今の温暖化による環境変化はすさまじい勢いで進んでいると思います。過日の新聞投稿欄に市内の方より「もう四季が無くなっている」とありました。ここ数年春が無く夏が長く、秋を通り越して冬…そんな状態が続いています。アンケートにもあるように「こまめな消灯」「公共交通の利用」etc お年寄りや子供さんたちにも分かりやすい環境教育を小さな事から、実践して欲しいと思います。
- 再生可能エネルギー設備への切り替えや導入の際に情報が入ってこない事がある。省エネに貢献したいと考えるが、日頃、関心をもつ、意識することが大切なのではと思います。
- 地球温暖化というものは、私達ひとり一人が心得なければ大変難しい問題だと思います。ごみの減量、リサイクル、プラ・紙などなるべく回収に出すようにしています。小さな事のようにですが、大勢の力だと皆が心得れば異なると思います。
- メガソーラーを山に設置するのはやめてほしい。糸井地区にハゲ山があるので土砂災害が心配。木を植えてほしい。
- ごみ処理ではなく、資源と考えたりリサイクルシステムの再構築をお願いします。特に生ごみと言われる食品廃棄

物の堆肥化を考えてほしいです。（各家庭が取り組みたい、取り組めるやり方で）。

- 猛暑を経験して、今後の地球に不安を感じます。皆で取り組める事をしていこうと思います。エネルギー問題が大きいと感じますが、兵庫県でも火力発電に頼っており、矛盾しています。二酸化炭素の削減を口実に原子力発電に国が進もうとしていることにも反対です。原発ほど高く、環境に悪い時代遅れのエネルギーにしがみつくのではなく、再生可能エネルギーに全体がシフトするべきと考えます。屋根にソーラーパネルを普及する取組を市が先導してくれたら、少々の出費でも参加しようと考えています。
- 市は本気で取り組み、省エネ、温暖化対策を市の活路とすべし。
- アンケートの中で、横文字が多くあり、理解しにくい面があった。地球温暖化に関するイベントがほとんどない。
- 昔の生活に戻れば温暖化は無くなりますが無理でしょう。田畑無くして住宅建てすぎです。
- 暑い夏、多い雪、高齢者増加などで省エネを実行するのは難しいです。しかし地球温暖化は近々の問題です。個人が一人一人が意識を持って行うことはとても大切ですが、今やそれだけでは到底間に合いませんし、上記の通り難しいです。国など大きな力、そして技術の開発が望まれます。私も高齢者。快適に楽に暮らしたいと願うのは罪のように感じないようどうすればいいかわかりませんが、良くなればと願うばかりです。
- 太陽光発電は良いと思いますが、今あるその設備の処分方法がない今増やしていったらどうなるのでしょうか…。地下埋没では解決にならないと思っています。
- ごみステーションの分別収集場所を高齢者が持ち込みやすい所にしてほしい。
- 地球温暖化対策の取組にあまり気付いてなかった。我が家でも高齢になり、田畑の放棄地も増え、家の周り、畑の周りの手入れができない。森林整備等できてない。朝来市で地区全体で取り組んでほしい。
- 古い家などでどうしたらいいのか今考え中です。
- 景観を考えない太陽光パネルには設置基準を厳しくする必要あり又かなり環境破壊にならないかと心配するものもある。新築家屋のパネルにはもっと補助金をつけたい。（南但馬では効率が悪いかも）。私自身はエアコン特にクーラーは苦手です車でも使用しない。窓を全開にして乗っている。確かに暑いのが辛抱できない事はない。省エネと言いながら、エネルギーの大量消費の社会、人々の生き方を危惧している。
- ごみ袋の無料化。（量が多い家庭は現状で良いが）
- 家の照明は LED にしています。買い物にはエコバッグ、カゴを持って行きます。冷蔵庫に物を入れすぎないようにしています。
- 高齢者（世帯）では取組には、体力、資力に限度があり個々では難しい問題です。
- 空バス、自家用車に 1 人だけ乗ってガソリンを毎日浪費している。根本的な解決策は無いのか、ライドシェア、バスワーデータを駆使し利用効率アップを図る。地球温暖化を肯定し、利用する策を考える。毎日車に乗って通勤しながら、散歩やジョギングで 1 万歩も歩いて健康管理？週に 1～2 回公共交通機関を利用する日など促進策。津波が来ない町とか新しい発想・PR…南海トラフ地震…移住促進。
- 学校・家庭における環境教育、生活習慣の改善を図る。
- メンテナンスや災害のためソーラーパネルだけは不要だと思います。
- 1 人 1 人の意識と習慣が変わらないと解決しないと思うので、その意識に呼びかける政策が必要だと思います。
- 薪ストーブの推奨と草焼きの禁止とは矛盾するのではないか。（CO₂ 排出の点で）薪ストーブは安全上（防火上）の設備が必要なので、ストーブ購入費用だけ補助しても、活用できるケースは少ないのではないか。ただし、薪の地産地消ができれば、里山の管理という点では有効かもしれない。取り組み方によっては雇用も生まれるかもしれない。薪ストーブにしても、草焼きにしても、条件付きで認めたら良いと思う。
- 小さな事ですが、生ごみを自宅で処理している。物を必要以上に買すぎない。室内の温度を適度に調整している。

- 蓄電池導入に対する補助金や勉強会（セールスが多い）、生ごみ処理機（家庭用）の助成金！！、小、中学校の体操服、制服の素材の見直し。
- 補助金などの購入支援、先進的な取組をされている家庭の紹介など。
- 補助金助成金の拡充。
- 谷川や平地の段差部を利用したマイクロ水力発電設備を数多く設置する。補助金をつける。
- 公共の交通機関の充実により、自動車所有の必要性を低減させる。
- 家庭用生ごみ処理機に対する助成金があれば導入を検討したい。周囲にも同じ考えの人が複数人いる。
- 太陽光発電システムの設置は農用地でも可とする。
- 雨水貯水タンクの設置に伴う補助金制度の新設。雨水は流せば洪水、貯めれば資源。野菜や植木等への散水に活用、防災対策にも役立つ。
- 森林保護等を充実させて、エアコン等の利用を減らすなどの工夫が必要だと思う。
- ごみを分別して何か特典があると、意欲的に取り組めます。